

本日ここに、令和6年6月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位には、時節柄御多用にもかかわらず、御参集いただき誠にありがとうございます。開会に当たりまして、今後の町政運営について私の所信の一端を申し述べる機会をいただいたことは誠に光栄であり、心よりお礼申し上げます。

これまで4期16年の施策の推進に当たりましては、皆様の御理解と御協力をいただけたからこそ成しえたものであり、深く感謝申し上げます。

このたび、町民皆様の信頼を賜り、5期目の町政運営の重責を担わせていただくに当たりましては、改めて初心に戻って日々、町の発展と町民の皆様の安心のため努力を重ねてまいります。

さて、日本経済は34年ぶりの円安水準により物価の高騰が進み国内消費への悪影響をもたらしているほか、イスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う輸送費用や原油価格の高騰により、日々の暮らしはもとより経済全体へ大きな影響を与えております。

当町におきましては成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備、更に銚子連絡道路の延伸など大規模な社会資本の整備が進められています。

町を取り巻く環境が大きく変化しようとしている中、今後生じる様々な影響をプラスに変える知恵を、議員各位を始めとした町民の皆様と出し合い、心ひとつにしながら、安全で安心して暮らせるまちづくりと地域振興に向けて、これからの4年間、次に掲げる点を重点施策として取り組んでまいります。

1 つ目は、「横芝光インターチェンジ周辺開発」であります。

横芝光インターチェンジ周辺開発につきましては、令和 4 年度に基本計画を策定し、令和 5 年度には計画の実現に向け、まちづくり推進協議会を設立するとともに、事業化検討パートナーを募集し、本年 2 月に清水建設株式会社、株式会社カインズ、大和測量株式会社の 3 社と覚書を締結いたしました。今後は、成田空港直結道路の推進と合わせ、飲食・買物・観光施設等賑わいの拠点となる複合施設用地と、その周辺に製造業や物流施設等の産業用地を配置した拠点整備を進めてまいります。

2 つ目は「J R 横芝駅北側開発」であります。

横芝駅北側開発につきましては、令和 4 年度に土地の所有者であるベルテクス株式会社と連携と協力に関する協定を締結し、令和 5 年度には基礎調査として町全体の人口動向や都市構造、公共交通等の観点から分析を行い、横芝駅北側周辺に必要な都市機能や施設の抽出を行いました。今後は調査の結果を踏まえ、より具体的な検討を行いながら事業計画の立案を進めてまいります。

3 つ目は「自動運転バスの運行」であります。

令和 6 年 2 月 1 日からスタートいたしました自動運転バスの運行であります自動運転モビリティ事業につきましては、通年走行としての事業を継続するとともに、実用性を持たせた新たな走行ルートの拡大やデジタルツールを活用したサービスの連携を模索するなど本事業を更に推進するため、

令和 6 年度においても国庫補助事業の採択を目指すと同時に、町の新しい移動手段と新たな交通ネットワークの構築と合わせたスマートシティの実現に取り組んでまいります。

4 つ目は「横芝海のこどもの国跡地周辺の観光開発」であります。

横芝海のこどもの国跡地周辺の観光開発につきましては、本年 3 月に、株式会社ユニマツトプレシヤスと活用検討パートナーの覚書を締結いたしました。

今後は、観光振興・雇用促進・経済発展に役立てる土地利用を目指し、海・川などを活かしたライフスタイルが体感できる、インバウンドも取り込む世界に通用する観光開発を推進してまいります。

5 つ目は「成田空港直結道路の推進」であります。

横芝光インターチェンジから成田空港に至る空港直結道路の整備は、成田空港の更なる機能強化により増加する空港就業者の通勤や観光客の誘致など、定住者対策や地域振興に深く関わるため、千葉県に最優先の整備を要望し、早期完成を目指して推進してまいります。

6 つ目は「両総用水土地改良区南条支線地区の農業基盤整備」であります。

両総用水土地改良区南条支線の地区を 3 つに分け、1 期地区、2 期地区については、千葉県の基準とする地元仮同意率 90 パーセントを超えたため、1 期地区は、令和 5 年度に千葉県の審査会に提出し、内諾が頂けてい

る状況であり、２期地区は、千葉県の審査会に提出する資料整理をしている状況で、事業採択を目指し進めてまいります。

また、３期地区についても事業推進を図り、町の基幹産業である農業生産基盤の整備に努めてまいります。

７つ目は「町道Ⅱ－１０号線と下町踏切の拡張」であります。

町道Ⅱ－１０号線は、ショッピングモール「ピアシティ横芝光」の西側に隣接する幹線道路で、慢性的に混雑しています。踏切区間の幅員がとても狭く、交通に支障を来していることから、令和５年度から道路改良事業に着手しました。

念願である下町踏切の拡張には、多少お時間をいただきますが、町民の安全確保と利便性の向上を図るため、早期完成を目指してまいります。

これらの各種整備に加え、「女性活躍、ＤＸ、国際化、多文化共生、海、川などを生かした新たな視線でのまちづくり」といったソフト事業も進めてまいります。

女性活躍につきましては、女性の活躍の推進のため「子育て世帯に優しく、女性に選ばれるまちづくり」に向け、女性の活躍強化とチャレンジの支援に取り組んでまいります。

次に、デジタル技術を活用し、行政運営並びに住民サービスの利便性向上を図るためのＤＸ、デジタルトランスフォーメーションの推進につきましては、行政と町民が協働してＤＸを推進する体制を整え、「いつでも、どこでも、誰でも、容易に質の高い行政サービスを享受できるＤＸの推進」

に取り組んでまいります。

次に、国際化・多文化共生につきましては、国際化・多文化共生を実現するため、成田空港に近接する当町では、多様性を尊重し、海外で活躍できる人材を育成するため、国際感覚の醸成と異文化への理解を促進する取り組みを行ってまいります。

次に、海、川などを生かした新たな視点でのまちづくりににつきましては、町の認知度向上のためのブランディングやプロモーション、町の魅力を体感できるコンテンツを盛り込みながら新たな視点でのまちづくりに向けて取り組んでまいります。

以上、私の所信の一端を述べさせて頂きましたが、具体的な施策の推進につきましては、議会の皆様と協議を重ねながら進めてまいりますので、より一層の御指導と御協力を重ねてお願い申し上げます。